

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局地方道・環境課

担当室長名：祢屋 誠

事業名	(地域高規格道路 広島中央フライトロード) 主要地方道 本郷大和線	事業区分	地方道	事業主体	広島県
起終点	自：広島県三原市本郷町善入寺 至：広島県三原市大和町大草	延長			10.0 km
事業概要 広島中央フライトロードは、広島県臨空都市圏北部地域の大動脈であり、将来、山陽自動車道、広島空港と中国横断自動車道尾道松江線を連絡し、中国地方の高速交通体系の一翼を担う地域高規格道路である。このうち広島空港へ直結する約10 km（4車線）のバイパス整備を進めるものである。					
H7年度事業化		H7年度都市計画決定 (H7年度変更)		H7年度用地着手	
H7年度工事着手					
全体事業費		約640億円		事業進捗率 約64%	
計画交通量		暫定(2車線) 供用時：8,400台/日		供用済延長 3.2 km	
費用対効果分析結果		B/C (事業全体) 1.7 (残事業) 4.0		総費用 (残事業)/(事業全体) 319/768億円 事業費 ：304/753億円 維持管理費 ：15/15億円	
		総便益 (残事業)/(事業全体) 1,284/1,284億円 (走行時間短縮便益：1,164/1,164億円 走行費用減少便益：104/104億円 交通事故減少便益：16/16億円)		基準年 平成16年	
感度分析の結果 事業全体に対して感度分析を実施 交通量(-10%)、事業費(+10%)の場合：B/C = 1.4					
事業の効果等 ・物流効率化の支援（第二種空港広島空港と山陽自動車道河内ICへのアクセス向上） ・空港利用者の圏域の拡大（広島県北部地域と島根県・鳥取県の利用者の増大が見込まれる） ・企業誘致と地場産業の振興（周辺の工業団地等への企業誘致と地域の活性化が見込まれる）					
関係する地方公共団体等の意見 平成4年度に2市17町の首長と議長により広島空港北アクセス道路推進協議会が結成され、圏域の拡大と地域の活性化のため、毎年度、早期整備の要望を受けている。また平成17年3月22日に広域合併する三原市・本郷町・久井町・大和町の合併支援道路に位置づけられており、早期整備が望まれている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・広島空港利用客の増大（平成6年：約277万人 平成14年：約344万人） ・周辺市町村の広域合併（平成17年3月22日合併予定、三原市・本郷町、久井町、大和町）					
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地買収は完了しており、橋梁上部工（H15発注）と僅かな土工区間を残すのみであり、平成14年3月には約3.2 kmの区間について部分供用している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 橋梁の耐震設計指針の見直しにより橋梁の修正設計等が必要となり、事業期間の延伸と事業費が増大したが、平成22年度には暫定2車線供用の予定である。					
施設の構造や工法の変更等 ・土工区間の発生残土については、可能な限り近隣の公共事業に流用し、コスト縮減を図った。 ・空港大橋上部工の床版を鋼床版からI型格子床版に変更し、コスト縮減を図った。					
対応方針		事業継続			
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。